

委員会等の会議録

1 会議名	愛南町一本松地域審議会	
2 議題	(1) 新町建設計画の進捗状況について (2) 海業について (3) その他	
3 開催日時	令和6年2月20日(火) 10時00分から10時56分まで	
4 開催場所	一本松山村開発センター 1階 大ホール	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	山本 清人、門田 恵美子、田原 喜利恵、前田 三枝子、 藤田 真美、保田 和文	
7 担当所属	所属名	企画財政課
	担当職員 (職・氏名)	課長 清水 雅人 課長補佐 桑原 真也 課長補佐 尾崎 光弘
8 その他の 出席職員	所属名	水産課、水産課海業推進室、一本松支所
	出席職員 (職・氏名)	町長 清水 雅文 副町長 木原 荘二 課長 濱 哲也 室長 浜辺 隆博 支所長 入江 昌晃 課長補佐 中松 勝二
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
	(開会)
山本会長	議題(1)「新町建設計画の進捗状況」について説明をお願いします。
桑原課長補佐	(新町建設計画の進捗状況について説明)
山本会長	質疑等ありませんか。
全委員	(なし)
山本会長	議題(2)「海業」について説明をお願いします。
浜辺室長	(海業について説明)
山本会長	質疑等ありませんか。
全委員	(なし)
山本会長	その他、町に対し全体での質疑等はありませんか。
田原委員	<p>先ほど海業の話聞いて、愛南町にとって最後のチャンスであり、自分も町民の一員として他人事ではなく皆で頑張っていく必要があると思っています。</p> <p>また、南海トラフ地震を考えたとき、能登半島地震の状況を見ているといくつか気になる点があります。一つ目は水道管の耐震化で、愛媛県は32.9%で全国平均を下回っている中、愛南町はどうなっているのでしょうか。二つ目は家屋の耐震化についてで、珠洲市は1980年以前に建てられた家屋の割合が65%、能登町は61%で被害が大きく、建物の下敷きになった方も多いと聞いています。耐震化は急務だと思いますが、珠洲市でも最大200万円の助成金があったにもかかわらず、高齢化でお金を掛けても何年生きられるのかということもあるのか、2011年から2020年にかけて5件しか申請がなかったとのこと。もし申請が多ければかなりの命が助かったかもしれない中、愛南町の耐震化の補助金とその申請状況について教えてください。</p> <p>また、高齢化が進み医療費が合併当時から減っていない状況</p>

<p>清水課長</p>	<p>を考えると、健康寿命を延ばすことが医療費削減の観点からも大事だと思います。B & G海洋センターに行くとき多くの高齢の方たちが運動していますが、ある程度の年齢になると、車がないから通えないという人もいます。それらを考えると、例えば公民館に筋力がアップする健康器具を設置し、運動できるような環境を整備すれば良いのではないのでしょうか。</p> <p>水道管の耐震化率について、詳しい数字は水道課に確認し、後日お知らせします（後日、確認したところ耐震化率は32.3%であった。）。</p> <p>住宅の耐震化の補助金については申請件数が少ないため、担当課としても申請件数を増やす手段を考えていくと言っていました。</p> <p>公民館への健康器具の設置については、できるに越したことはありませんが、全ての公民館に設置するのは予算的に厳しいと思います。ただ、公民館としては、地域の健康を守るという意味ではそのような職務をすべきなので、健康器具ではないにしても健康ダンスなど公民館事業の中で健康部門も取り入れてもらえるよう担当課に伝え、今後の検討としたい思います。</p>
<p>副町長</p>	<p>水道の耐震化については毎年進めていますが、愛南町は面積も広く地域も点在しているため、全体での耐震化は難しいのではないかと思います。能登半島での地震は地形的にも似ており、発災後50日が経過し、断水が1万数千世帯、更に道路が寸断されている所がまだあるという中、能登半島地震での検証でもあったように、各地区の避難施設となる所までの耐震化を進めるなど新たな取組を考えていく必要があると思っています。</p> <p>住宅の耐震化については、事前の耐震診断については無料でできます。耐震工事については、かなり高額で100万円レベルで補助金を出しています。また、どうしても家の中を触らなくては耐震化ができないので、耐震化したいけれど耐震診断まで終わって工事には至っていないという人が結構いらっしゃいます。ただ、本町では以前に議会でも出ましたが、せめて命を守るということを前提に、寝室に耐震シェルターのような補強をして寝るところだけ、若しくは団らんでもしている場合はそこに逃げ込むなど、家全体の耐震は無理でも一部分のシェルター方式で、そこだけ強化して命を守るということを進めていくのが重要ではないかと考えています。</p>

	<p>皆さんの意識も高まっており、事前復興計画策定に向けて、2月10日に高校生や若い世代も含め全世代で、想像力を膨らませてどういう取組をしていくのが良いのか意見を聞いたところであり、皆さんにも、今後、いろいろな前向きな意見や関わりを持ってほしいと思います。</p>
町長	<p>既に一本松のある方は、一部屋だけシェルターを作っていると聞いています。</p>
田原委員	<p>そういった動きが広まったら良いと思います。</p>
山本会長	<p>その他質疑等はありませんか。</p>
全委員	<p>(なし)</p> <p>(閉会)</p>